

知って得する 窓&カーテン節電の話

今年も寒い冬の季節がやってきました。寒くなればなるほど、エアコンやストーブなどの暖房器具は必須です。そして暖房器具を使い始めると気になるのが、電気代やガス代といった暖房費。寒い日が続くとな暖房の設定温度を上げたり、長時間つけっ放しになりがち。なんとか節電したいけど、暖房器具を使わないわけにはいかないし…

まずは窓周りから寒さ対策！効率よくお部屋を暖めて、この冬を快適に過ごしましょう！さらにこの冬は電力不足・電気料金値上げの懸念も…。今年の冬の電気料金は昨年と比較してなんと3割程度も高くなる可能性もあるんだとか。

実はお部屋の暖房の効きを良くするには、「窓周り」が大きく関係していることとはご存知でしたか？

下の図でも分かるとおり、一般的な住宅において冬場の室内の熱・暖気のおよそ60%は窓から外に流れてしまいます。更に外からの冷気も窓を通して入ってくるため、お部屋を温かくするための鍵は窓にあるといっても過言ではないのです！そんな窓周りを中心と

した、お部屋をあったかくするための方法をお伝えします。窓周りの寒さ対策で大切なのが①窓から入りこむ冷気をシャットアウトすること②お部屋の暖気を外に逃がさないこと。この2つを叶えるためにお手軽に取り入れられるのが「断熱カーテン」！断熱カーテンは生地密度が高いため、お部屋の熱が外に逃げたり、外の冷気がお部屋に入ってくるのを防いでくれる効果が！

空気の出入りを防ぐという事は、冬の寒さ対策だけでなく夏の暑さ対策にも効果大！1年を通して節電に貢献できる、おトクなアイテムなんです。



また2階建て以上の建物でよくあるのが、上の階から冷たい空気が流れ込んでくる！という悩み。その原因は空気の性質によるもので、暖かい空気は上に、冷たい空気は下に流れやすくなっています。とくに階段に扉などがなく、直接リビングなどに繋がっている場合はこの性質がかなり厄介です。階段を通過して上の階からは冷たい空気が流れ込み、さらに暖房で暖めた空気は上に逃げてしまうため、暖房をフル稼働させているのにお部屋がずっと暖まらない！なんて事態に…。そんな場合には、空気の通り道に断熱カーテンをつけてあげましょう。階段や廊下から冷気が入るのを防ぎながら暖めた空気は逃がさないで、電気代の節約にも効果大！階段や廊下からの冷気を軽減するにはスリット入りカーテンがおすすすめです。スリットが入っている人の出入りが多いリビング階段や玄関に続く廊下などでも通りやすい◎さらに突っ張りレールが標準で付属しているので、壁に穴を開けることなく簡単に取付できます。我が家もこの方法でカーテンを付けて対策しています。